

洪水・土砂災害で被災する危険性の高い場所に住む人の避難可能性と地域の防災戦略

- 浸水・土砂災害の危険区域内にどの程度の福祉施設が存在するのかを明らかにし、市町村別に集計しました。あわせて、市町村ごとに、どの施設が危険区域内にあるかを示しました。
- 国勢調査の基本単位区(おおむね自治会の拡がりに相当)レベルでの、浸水・土砂災害の危険地域に住む人の数を2020年と2065年の2時点で推計しました。
- 年齢区分だけでなく、要介護認定者、障害者などの数を考慮することで、危険区域に居住する、避難行動要支援者数と、それに対して避難行動を支援出来る人がどの程度いるのかを示しました。

想定浸水深別危険福祉施設数

	L1	L2
浸水深 0.5m以下	325	256
浸水深 0.5-3m	801	581
浸水深 3-5m	92	477
浸水深 5-10m	15	533
浸水深 10-20m	9	70
浸水深 20m以上	3	19

1人の避難行動要支援者あたりの支援者数(L2)

